

2014/11/13

2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に向けた
科学技術イノベーションの取組に関するタスクフォース（第2回）

パトリック・ハーラン構成員からのご意見

■ P J 1

- ・挨拶をしたりや荷物を持ったりするロボットなど、パーソナルサービスのできるロボットにより、接触することでロボットの印象が残る。例えば入国後まで荷物を運ぶようなサービス展開など。
- ・翻訳技術で、スマホのカメラで文字を写すと画面上で自国語に翻訳してくれるアプリがあると便利。町の看板など、縦書きにも対応できる技術が必要。
- ・ホームページなど、英語画面への切り替えボタンの表示が「英語」と日本語で記載されているような不親切さに注意すべき。
- ・大会期間中だけでも外国語対応の緊急電話サービス等の提供があるべき。
- ・各国来訪者に、滞在に便利なアプリ等を記載したチラシを配布することで周知させることも必要。
- ・GPSを使った町探索や物々交換ゲームが流行っている。GPSを活用して、いきたい場所に誘導し、または現在地の近くにあるものやその場所にまつわる雑学情報を提示してくれるといったアプリを活かした新しい旅行の提案も面白い。
- ・浅草などの観光地だけではなく、渋谷、新宿なども外国人観光客に人気なエリア。そこにも多言語の案内所があると便利。
- ・交番は日本独特の素晴らしいシステム。最近外国でも真似されている。交番にも多言語の案内などがあると更に交番が世界に普及するかもしれない。

■ P J 3

- ・福祉器具や身体補助の機械を装着した人が選手として出場するオリンピックなどを日本で開催してはどうか。ロボカップのように各工業大学にも参加してもらい、技術を競うことで技術の向上や普及も早まる。

■ P J 4

- ・次世代交通システムはルールを守る日本社会だからこそ実現できる技術。東京は首都機能がコンパクトにまとまっており、効果も高い。
- ・都心でもまだベビーカーフリーや車椅子のための設備や駅員補助が足りないところも多く、対応が必要。

- ・バス車両、もしくは移動車両が、水素自動車やEV車などで自動走行ができれば世界への印象も大きいし、騒音や環境面でも大きな貢献となる。
- ・交差点の信号制御による渋滞解消の対策なども組み合わせることで効果が高まる。

■ P J 5

- ・放射能問題は世界中が心配している。原発再稼働が一時的なものであり、今後クリーンエネルギーにシフトする姿勢を世界に示すことが必要。現状維持ではその心配を払しょくできない。日本が世界を引っ張れるチャンスでもある。
- ・クリーンエネルギーとして生ごみをエネルギーにする技術等もあり、活用すべき。生ごみを「燃料ゴミ」などとし、分別するゴミ箱が置いてあるだけでも世界では斬新なものとして受け入れられ、「日本式」として各国に広まることも考えられる。

■ P J 6

- ・把握された気象情報を来訪者等に周知できるアプリの開発が必要。
- ・GPSによる位置情報と重ねて、特定エリアへの警報をその範囲にいる人のスマホに提供したり、あわせて近傍の傘売り場を知らせるなど、個別のサービスができると便利。
- ・透明のビニール傘が外国人に人気。傘に災害対策用のアプリ等の宣伝を記載するとPRにもなり便利。

■ P J 7

- ・車の渋滞緩和などもビッグデータで実現してほしい。首都高の混雑情報などもまだタイムラグがあり不便。また、大会をきっかけとしてビッグデータの活用技術が進められるべき。
- ・忘れ物の対策等にビッグデータを活用し、スマホ等でお知らせするは面白い技術。
- ・プライバシーを守りながらビッグデータを活用することは重要。プライバシー大国としての売り出しもできる。
- ・全国的に無料のWi-Fiを普及させるべき。外国人が来て、高い通信量がかかったり手続きが煩雑では便利さを享受できない。また、暗号化等によるセキュリティ強化がなされていることを宣伝することも重要。
- ・一つの電子カードやアプリで電子マネーも利用可能で、各国の電話会社、もしくはカード会社に請求にて支払いができるなどの一体的なサービスができると便利。また各国利用者の考え方、消費パターン等を把握して次のサービスに活かすこともできる。

■ P J 8

- ・会場内や競技種目毎のワンセグによる映像提供などができると便利。

■全体

- ・プロジェクトのタイトルを設定すべき（短くインパクトがあるものへ）。
- ・ストーリー性を持って語りかけるなど、日本の技術や取り組みをより良く表現できるようなコミュニケーション能力を高めること。
官的な表現では拒絶される。
- ・電線の排除。昭和の雰囲気等が漂う路地裏などへの対策も行うなど、街の景観を高めることで重要な観光資源となる。
- ・ガラパゴスとなることを避ける。日本の高い技術を海外に普及させ、世界をリードすることが必要。オープンソースで世界に展開していく取組も必要。

以 上